

コンテンポラリーダンス新進振付家育成事業

# Choreographers 2023

北九州公演

## 次代の振付家によるダンス作品上演&トーク 出演者募集!

コンテンポラリーダンスの振付家の役割って案外知られていない。

「振りを付ける」ことに留まらず、作家であり、演出家であり、思想家であり、冒険家であり……。ダンスは、時には社会を察知し、真実を探るメディアでもあるのだ!

「Choreographers」は、そんな振付家にまつわるあれこれを、上演&トークを通して掘り下げるシリーズです。第4弾となる北九州公演では、「KYOTO CHOREOGRAPHY AWARD (KCA) 2022」の受賞振付家3名の作品に加え、地元にも縁のある振付家の作品を募集&上演します! 様々なダンサーたちも作品を発表してきたJ:COM北九州芸術劇場・小劇場で作品上演できるこの機会に、ぜひふるってご応募ください。

### 公演詳細

2023年11月26日(日) 開演時間未定  
J:COM北九州芸術劇場 小劇場

上演作品・大森瑤子(東京)「Help」\*KCA 京都賞  
・岡田玲奈、黒田勇/Null(東京)「Own Own」\*KCA 奨励賞  
・Aokid×たくみちゃん(東京・神奈川)「HUMAN/human」\*黄金4422AIR賞  
・地元作品 \*公募により、選出

### ■対象

- ◎応募時点で40歳以下のコンテンポラリーダンスの振付家、ダンサー。  
ダンス作品をこれまでに発表しているかどうかは問わない。
  - ◎北部九州(福岡県、長崎県、佐賀県、熊本県、大分県)に在住、通勤、通学、もしくは北部九州出身であること。
  - ◎振付家としての成長・発展、自身の作品の発展・進化を望んでいる日本国内在住者。
  - ◎20分~25分の2人以上の出演者によるダンス作品を発表したい方。
- ※裏面もご確認ください。

### ■選考プロセス、スケジュール

資料と映像にてご応募いただき、書類選考により上演する1組を決定します。

6月30日(金) 応募締切  
7月中旬 選考・上演作品の決定・通知  
~10月 作品のクリエイション期間

※公演1か月前に、テクニカルスタッフとの打ち合わせのため、作品映像を提出いただきます。

11月24日(金) 仕込み、テクニカルリハーサル  
25日(土) 稽古場にてリハーサル  
26日(日) ゲネプロ・公演

- ※応募の前に、裏面の公募要項に必ず目を通してください。
- ※選考の結果は7月中旬ごろまでにメールにてご連絡いたします。  
@kicpac.orgからのメールが受信できるよう受信許可設定をお願いいたします。
- ※選考の過程で、オンラインによるインタビューを行う場合があります。
- ※選考過程についてのお問い合わせは原則受け付けておりません。

### ■書類選考委員

康本雅子(振付家・ダンサー)  
NPO法人JCDN  
J:COM北九州芸術劇場

### ■応募方法

こちらよりGoogleフォームにてご応募ください。



- ※郵送・メールでの申請受付は行っておりません。
- ※Googleフォームを使用した申請手続きでは、フォーム入力中に一時保存ができませんのでご注意ください。
- ※質問事項は全18個です。入力前に下書き資料の作成をお勧めします。

### ■応募締切: 6月30日(金)

### ■お問合せ

J:COM北九州芸術劇場  
Choreographers 出演者募集係(担当: 森下)  
TEL: 093-562-2620  
MAIL: kitageki@kicpac.org

# Choreographers2023 北九州公演

## 次代の振付家によるダンス作品上演&トーク 出演者募集

### 【公募要項】

#### ■応募条件

- ◎応募者自身が振付をしたオリジナルなダンス作品であること。新作/旧作を問わない。
- ◎デュオ以上の作品であること。(振付家自身が入っても入らなくてもよい)
- ◎連名やカンパニー名での共同振付作品の応募も可能。
- ◎応募者1名(1組)につき1作品のみ応募可能。
- ◎日本の法律で禁止されている行為と認められる内容は選外。
- ◎会場となるJ:COM北九州芸術劇場小劇場 <http://q-geki.jp/usage/floor/hall-small/> で上演できるスケールのものであること。  
<予定として、間口6間(ソデなしの場合)×奥行4.5間程度>
- ◎出演者の人数は問わないが、その人数に必然性があること。ダンサーや関係する方の年齢は特に問いません。
- ◎20-25分の作品映像と振付家プロフィール・作品説明・応募動機などのデータ資料をメットまでに提出。
- ◎作品映像は自身が発展・深化させたいと思う作品の映像にすること。
- ◎新作の場合、応募映像と補足資料(振付だけでなく、音楽・照明イメージ・衣装・美術の有無等)を添付し、作品の内容が分かるようにすること。
- ◎提出する作品映像が20-25分でない場合、または新演出を加える場合は、変更点と要点を明記すること。
- ◎上演内容がわかりづらくなるようなビデオエフェクト、PVのような編集映像は避けること。
- ◎1日4組程度の上演のため、舞台転換が5分程度に収まる美術や道具であること。  
(照明・音響も共有のため、リクエストに対応できない場合があります。)
- ◎地元作品であることから、原則として出演者と振付家の移動費・宿泊費の支給はありません。
- ◎公演1か月前に、テクニカルスタッフとの打ち合わせのため、通しの作品映像を提出いただきます。
- ◎作品を多くの方にご覧いただくため、公演の広報や周知に積極的にご協力いただきます。

#### [選考・審査のポイント]

- ◎既存のムーブメントを更新するような新たなダンスムーブメントの領域を開拓していくと期待されること
  - ◎コンテンポラリーダンスの歴史や展開に新たな視座を付与するような斬新なコンセプトを提案していくと期待されること
  - ◎ダンスの音楽性、ビジュアル性、空間性を更新していくと期待されること
  - ◎出演者間のパフォーマンスの優れたアンサンブルやエネルギーを生み出していくと期待されること
  - ◎ダンス以外のメディア、音楽、美術、映像、言葉、などとの領域横断的な試みにおいて優れた成果を出していくと期待されること
  - ◎現代社会の抱える様々な課題について鋭い応答をしていくと期待されること
  - ◎今後、北九州または北部九州(福岡県、長崎県、佐賀県、熊本県、大分県)を拠点に、振付家としての活動を発展・進化していくと期待されること
- \*上記の項目を全て満たさないとはいけないということではありません。

#### ■上演に関するサポートについて

- ◎公演制作及び広報を主催であるJCDN、共催である北九州市芸術文化振興財団が担います。
- ◎舞台・照明・音響などの基本的なテクニカルスタッフおよび機材費は主催者・共催者が負担。  
ただし、作品の演出上個別のテクニカルスタッフや機材を必要とする場合は、振付家の負担となる場合があります。
- ◎作品制作のサポート費として、薄謝をお支払いするほか、チケットマージンを設けます。
- ◎上演までの仕上げとして、J:COM北九州芸術劇場が指定する期間内で相談の上、稽古場を使用可能とします。
- ◎JCDNの人材育成プログラムへの推薦や情報提供を行うなど、公演後も振付家としての活動を可能な形でサポートします。